

OS交配

●ハウス● 8月～3月播き ◎越冬・促成・半促成・無加温

キュウリ



マジカル1号 試交 380

マジカル2号 試交 383

褐斑病に極めて強いツヤ系品種



〈摘芯栽培〉
〈つる下ろし栽培〉
ともに適しています

〈マジカル1号〉



株式会社 埼玉原種育成会

OS
交配

マジカル 1号・2号



特性と栽培のポイント

摘芯栽培・つる下ろし栽培ともに適す

特性

短日・弱光・低温時期においても充実した生育を展開し、果実の肥大も良好。丈夫な茎葉と果実の肥大がスムーズで、若々しい草姿・草勢を示す。果形・果長の安定性が高く、非常に作り易い高品質の品種。茎葉が丈夫で、草勢の低下が少ないので病気には強い。特に「褐斑病」には強い。

	マジカル1号(試交380)	マジカル2号(試交383)
適作型	ハウス:8月~3月播き 晩抑・越冬・促成・半促成・無加温	ハウス:9月~3月播き 越冬・促成・半促成・無加温
雌花率	70%~75% 8月~9月播きは50%以下 (どちらも11月~12月播きの場合)	70%~75% 1節 1~2果成り 成り戻り有り
茎	太く、勢い良く、充実した生育をする	
葉	濃緑色で厚みがあり、黄化しにくい葉 やや大きめ	
草勢	やや早生性であり、樹の仕上がり早い 側枝果の肥大盛り以降はゆっくりと確実に発生し、終始強めの草勢が保たれる。	側枝、孫枝とも力強く発生する 側枝果の肥大盛り以降はゆっくりと発生をし節間伸びすぎず、強めの草勢が保たれる。
果実	100g 21~22cmで安定し、首のまつまり良く円筒形 濃緑色で光沢良好 食味・食感が良く、棚持ち良好	
収量	果実肥大が早く、安定した草勢により、長期に亘り秀品多収となる。	
備考	初期から力強い生育を展開するので、側枝果収穫開始以降、孫~ひ孫枝の摘芯・誘引で株の立体感を作る(下から1本誘引することも可)、草勢が強い品種の特性を活かせるので、密植せずに充分な株間をとる	

栽培のポイント

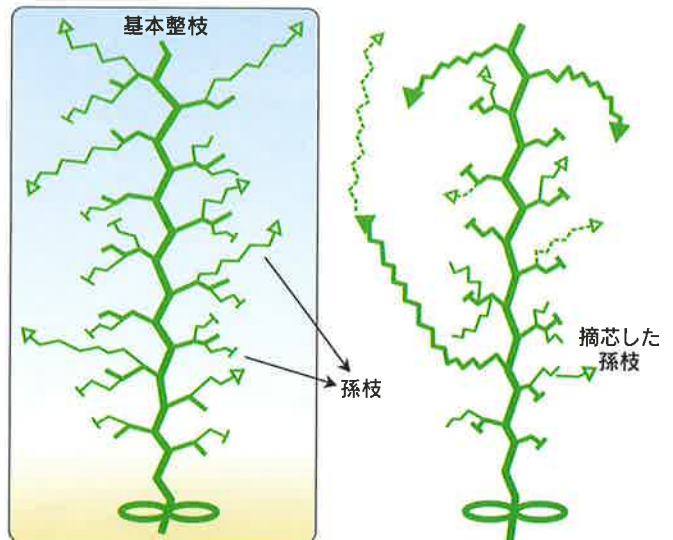
台木: 作型・土質・被覆物等を考慮してバランスの良いものを選択する

OS交配 ゆうゆう一輝黒タイプ・オールスター一輝・アート一輝

・FGY

ブルーム台木では、ウルトラ南瓜・ウルトラG南瓜との組み合わせが望ましい。

- 定植前、畦立て後、畦芯まで十分に湿らせておく。
- 定植後、本葉6枚頃までは、活着を促進するために、晴天ならば株元、株まわりを中心に手灌水する。
- 活着後、本葉12枚頃までは、葉の光沢を持たすよう、土壌と空中湿度を保つため、通路への散水等も行う。
- 本葉12枚から主枝摘芯に至るまでも、旺盛過ぎない限り水分を控えすぎないように注意する。
- 主枝果肥大初期より側枝果肥大初期に向けて、適度の吸水が保てるようにする。
- 最盛期以降も草勢維持のために、水分と肥料を随時補いバランスを整える。
特に長日期間中は水分不足に注意する。
- 厳寒期は、夕方から前夜半をやや高めの温度管理をする。



① 側枝は下節位を1節、中~上位節を2節で摘み、孫枝を半放任とする。

② 中位節と上位節の側枝を1~2本伸ばし、孫枝は半放任。

※収穫開始頃から、常に伸び続ける枝を4~6本確保し続けるると良い。



きゅうり・かぼちゃ・メロン 育成元
株式会社 **埼玉原種育成会**
〒346-0105 埼玉県久喜市菖蒲町新堀2616
TEL.0480(85)0854(代) FAX.0480(85)0407



OS交配種子 発売元
株式会社 **シード**
〒346-0105 埼玉県久喜市菖蒲町新堀2616
TEL.0480(85)7211(代) FAX.0480(85)0407